

## 事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名		諏訪美術展負担金			事務事業コード	111108	
2 担当部課		部等	教育部	課等	美術考古館	担当者	戸谷田 剛秀
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち				
		政策	文化・スポーツの振興			施策	文化・芸術の振興
		事務事業	諏訪美術展負担金				
		予算科目	美術考古館管理事業		業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）		国県補助	なし	
		根拠法令等					

## ●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	負担金	② 期間	年度 ～ 年度
補助金の種別	イベント等補助	③ 対象	市民団体、NPO等
④ 制度の内容	諏訪美術会（6市町村の美術会で構成）が主催する美術の展示会への負担金（市・教育委員会にて共催） 6市町村が負担金を支出している。		
⑤ 積算方法	6市町村全体 124,000円 均等割り（6,640円）及び人口割りにて算出		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	郷土作家の芸術、文化の向上及び発信の場、美術の振興に寄与する。		

## 5 補助等の実績

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	34,000	34,000	34,000	27,000
財源	34,000	34,000	34,000	27,000
内訳				
一般財源				
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	34,000	34,000	27,000	
予算執行率	100.0%	100.0%	79.4%	
支出額の前年度比		100.0%	79.4%	

③ 29年度の交付先  
諏訪美術会

## ●事業の評価 (CHECK)

### 6 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

#### 妥当性（１次判定）

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1	
③ 全ての対象者に交付している。	1	
④ 補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1	
⑤ 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1	

5  
5

⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答

#### 妥当性（２次判定）

高い

⑥ 補助対象団体では構成員に会費負担を求めている、自主財源を確保している。	1	
⑦ 補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。		0
⑧ 補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1	
⑨ 補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1	
⑩ 補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、使途を検証している。	1	

5  
9

### 7 有効性評価

\* 有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）が向上しているか。

#### 有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1	
② 補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1	
③ 他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1	
⑤ この事業の利用者が増加した。補助・交付件数 前年度比 100.0%	1	

## ●改善の内容 (ACTION)

### 8 具体的な課題と改善

課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)	
	特になし	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	特になし	
	改善開始時期	平成30年4月～

## ●次年度の計画 (PLAN)

### 9 次年度の方針

継続して実施